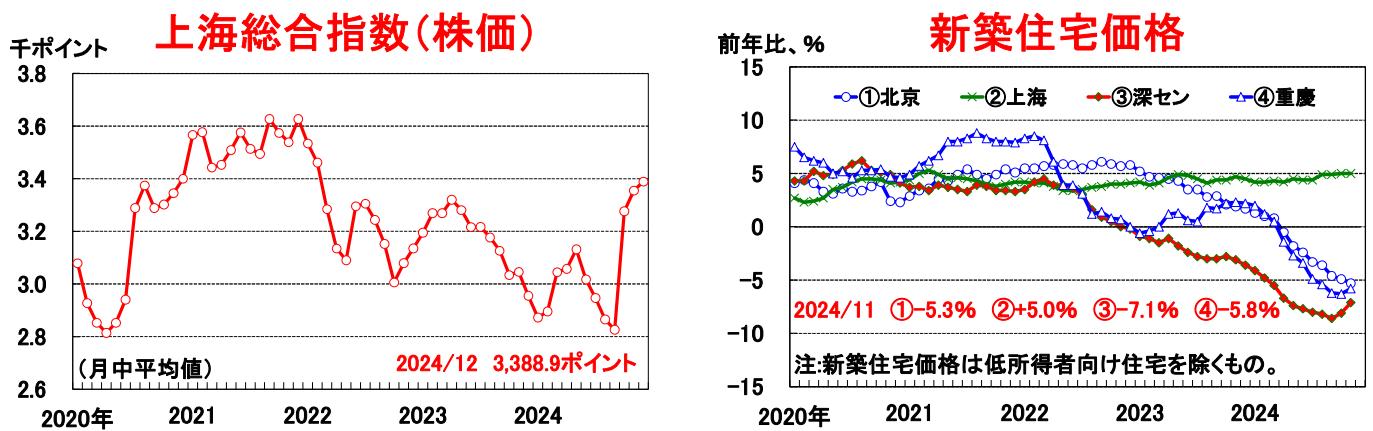
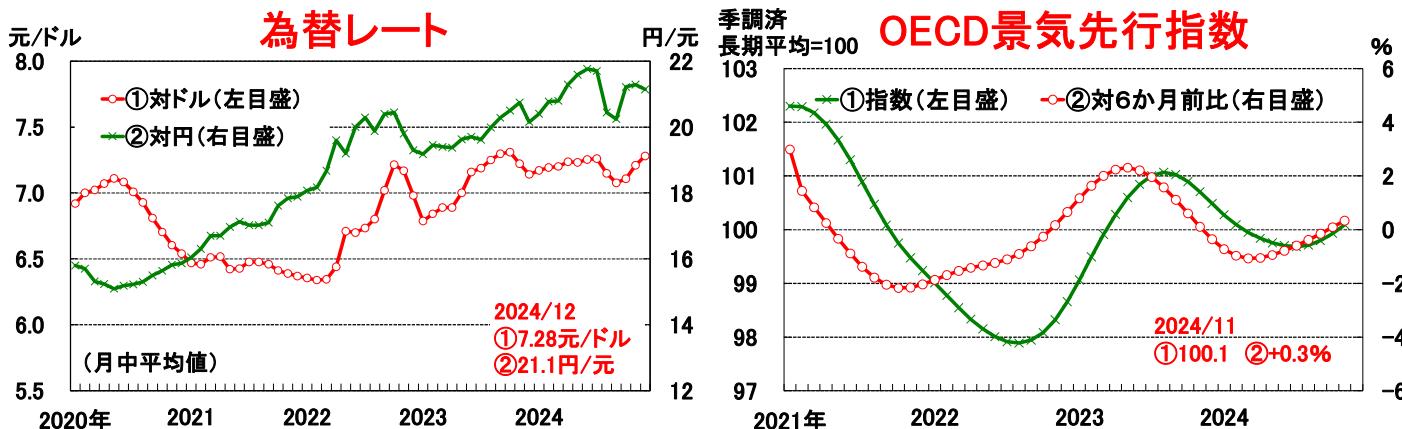
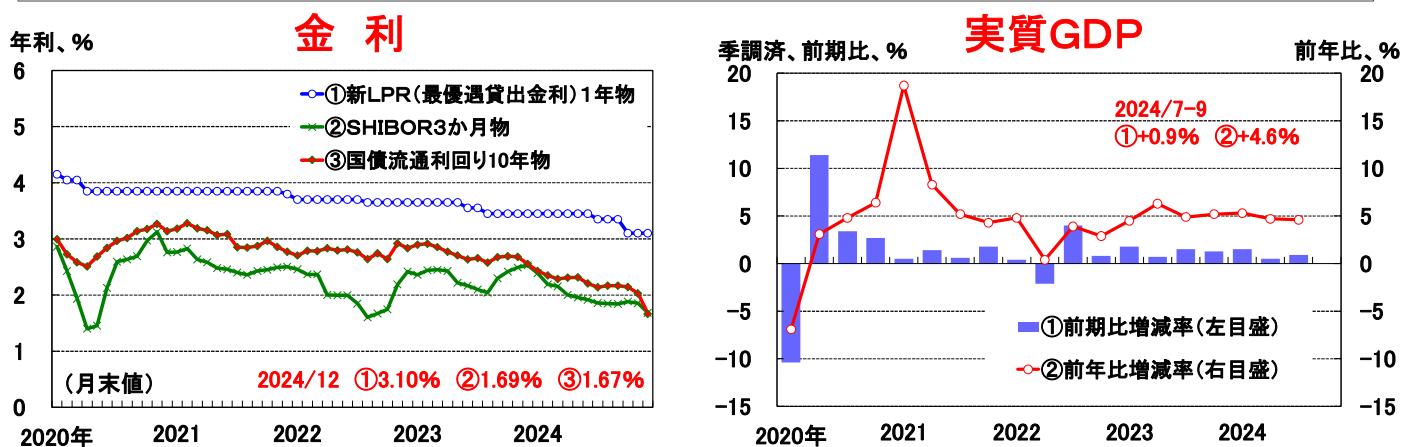
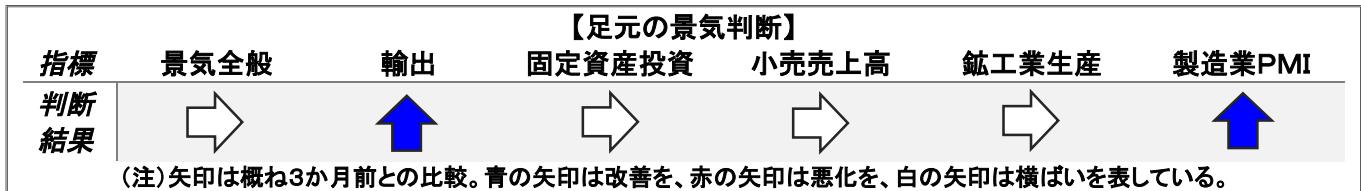


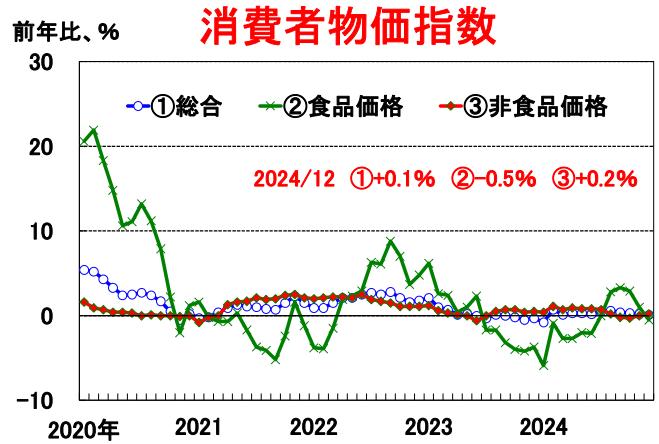
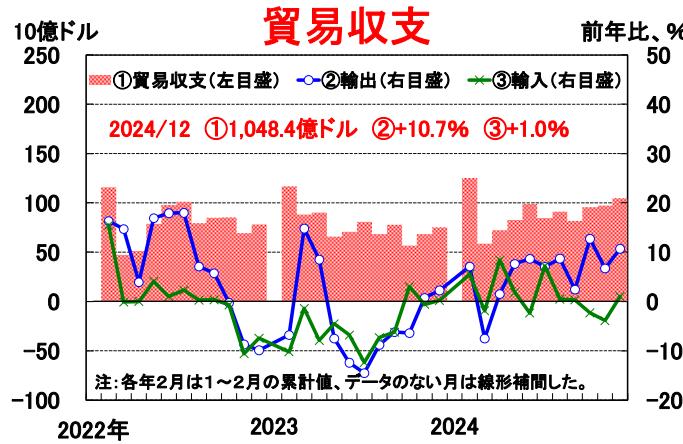
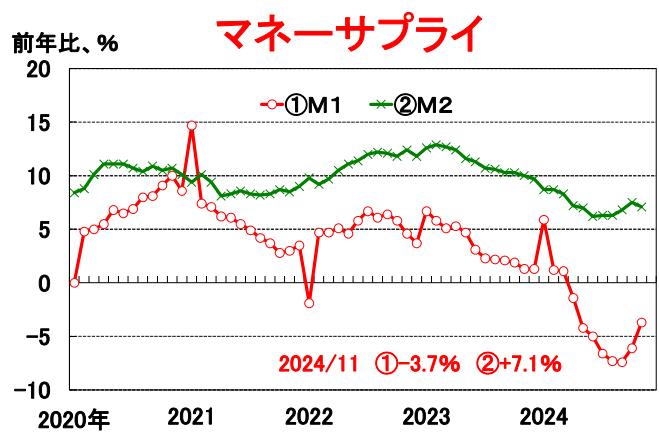
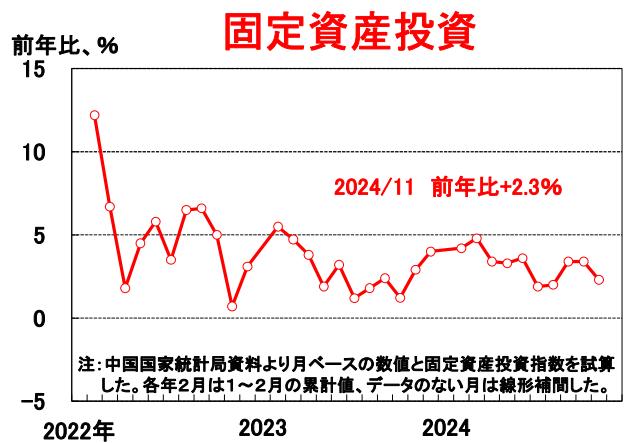
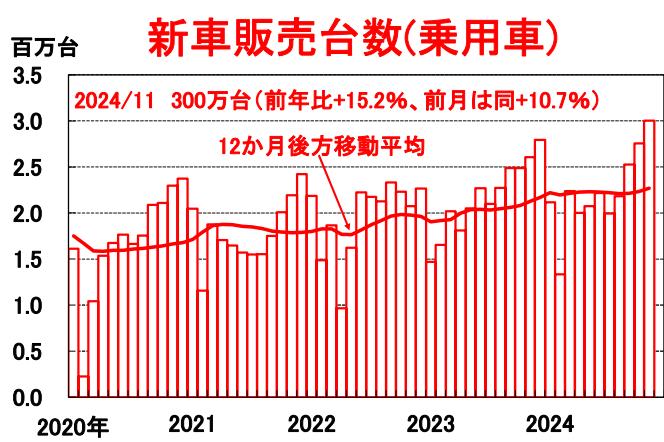
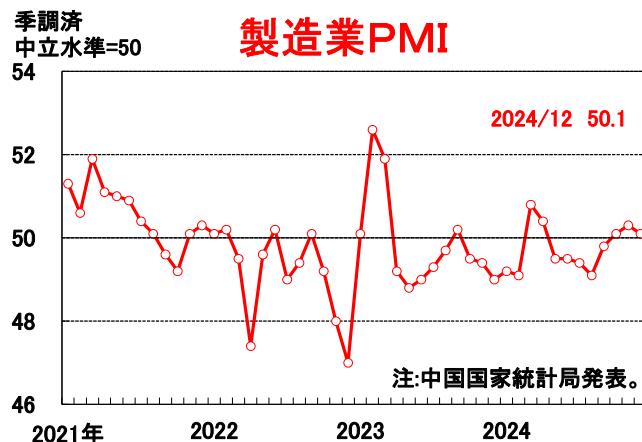
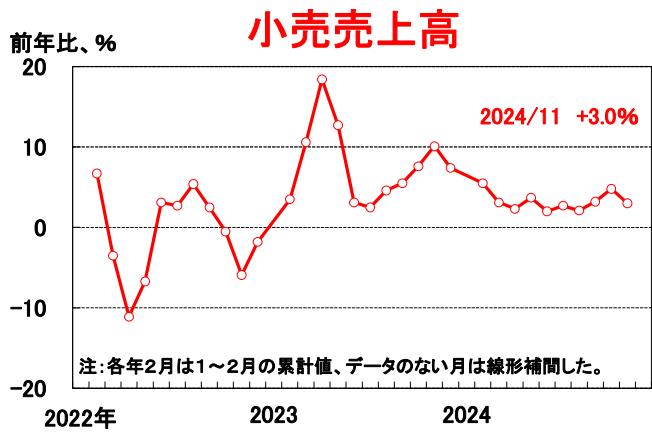
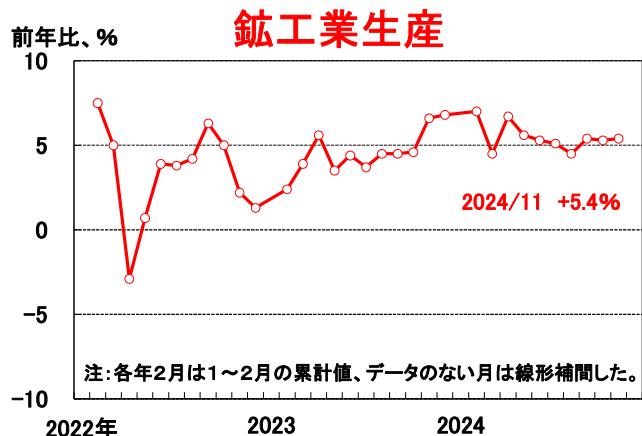
グラフで見る中国経済 2025年1月号(No. 188)

中国景気は回復の動きが再び鈍くなった。2024年11月の固定資産投資は前年比+2.3%と、前月に比べて増勢が鈍化した。内訳をみると、公共インフラ投資が秋口に比べて増勢が鈍り、不動産産業の投資も3か月連続でマイナス幅が拡大した。個人消費の動きを表わす小売売上高は同月に同+3.0%と伸びが前月を下回った。例年11月に行われる大規模なネット通販キャンペーンの一部が今年は10月に前倒しされたため、化粧品などが減少した。続く12月の製造業PMIは50.1と前月を下回り、製造業の景況感も改善の動きがやや鈍くなっている。



(出所) 中国人民銀行、中国国家統計局、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート発行後に予告なく変更されることがあります。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。



(出所) 中国国家統計局、中国海関総署、中国商務部、中国汽工業協会、中国物流購買連合会、中國人民銀行、C E I C 、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート発行後に予告なく変更されることがあります。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考る情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。